

『民報』連載「きびちよ」発刊 急須「横から口出す」



本の題は、お茶をいれる「急須」のことで

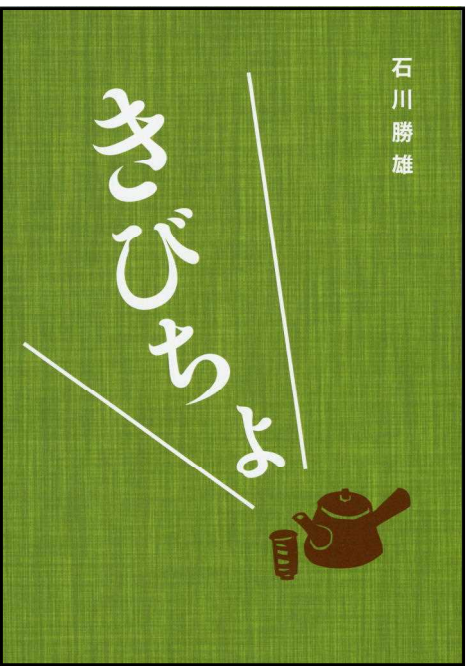
さて、急須はお茶をいれる道具ですが、口が横に付いています。

15の春・職場に年配の和尚さんがいて、急須のことを和尚さんはそんな風に呼んでいました。

「横から口を出す」つまり横からいっぱい口を出そうではないか。社会のことに横から茶々を入れようというこ

広辞苑には「きびちよ」とありますが、「きびちよ」でも判る人が多いようです。

とで付けた名前が「きびちよ」なのです。テレビを見ながらブツブツ言うような事



石川勝雄

石川勝雄著『きびちよ』・発行・鶴岡書店・2019年2月28日・頒価1000円・問い合わせ0235(64)2258

「民報」に書いていますが、読者のみんなからも様々に書いて貰いたいと思って投書欄として考えたのです。しかし、投書はなく、責任上・言い出しっぱの自分が書いてきたものです。日ごろの思いつきや愚痴を並べてきたもので、本にするなど考えにくいものですが、少し長くもなり、読者の声に押されて、一応まとめることにしたものです。読んでいただければ、当時の事を思い出すことなどあるのではないのでしょうか。お手にしていただいたことに、感謝申し上げます。あげる次第です。

春園

春園日暖気冲融
穀雨晴時歩宴中
新緑映池花撩乱
吹来嫋嫋對東風

春園

春園日暖にして気冲融たり
穀雨晴るる時 宴中を歩す
新緑 池に映じ花撩乱す
吹き来る嫋嫋 東風に對す

城貞（藤の花）

春の庭に太陽がふりそそぎ、暖かな陽気な季節になった。

春雨がやんで庭の中を散歩する。

新しく萌えてた若葉のみどりが池にはえて、花が入り乱れてさいている。

そんななかで吹き始めてきた暖かな春風に向かいあっている。

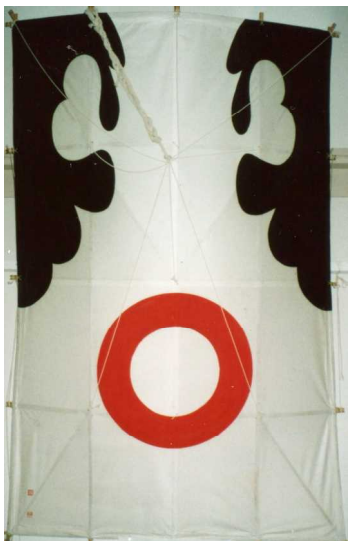
春園Ⅱ春の園。冲融Ⅱ和らぐ。穀雨Ⅱ穀物を育てる雨。二十四気の一つ春のおわり。陽暦の四月二十一日頃。宴中Ⅱ庭。撩乱Ⅱ入り乱れるさま。嫋嫋Ⅱ風のそよぐさま。

庄内地方の凧文化（続）

庄内の伝統凧「すみ凧」に新たな知見

鈴木隆（小中島）

「すみ凧」には2種類あることは以前から述べてきた。その一つは前号（第1191号）に掲載した清正の蛇の目紋と4隅に鍬形の唐草を配した「清正の兜」であり、もう一つは左の絵柄の凧である。



をす、如何に世が平安なるうとも髭

この凧については聞き取り調査で、曾祖父の代（江戸末期）から口伝されてきたという人も少なからずいたことや、複数の民俗学者の中にも代々清正の顔として口伝されているという声には信憑性があり、清正の顔とする説は理解できるとしている。

大きく開けた口、逞しい鼻髭と頬髭を蓄えた勇壮な顔は、戦の陣立てで雄叫びをあげ采配を振る「清正の顔」に見える。

このことについて最近、それを裏づけるようなエピソードを発見した。

時代は江戸まで遡るが、徳川家康の話として、天下統一の世となり、戦がないので全国に諸大名は髭を生や

している者などいないのに、清正は相変わらず髭を剃らない理由を家康の重臣本多正勝を通じて清正に尋ねたところ、清正曰く、髭とともに兜の紐を確かめると同時に、縮めた時の気分、壮快さは何とも言い難く、心まで引き締まる思い

つまり、2種類の「すみ凧」は「清正の兜」と「清正の顔」をセットにして作られたものではないだろうか。

これが従来から謎とされてきた、庄内にはかない「すみ凧」の正体と私は考える。

アマゾン資料の活用に 自民会派が反対

鶴岡市の新年度予算のうち、アマゾン資料の有効活用検討事業480万円に、議会最大会派の新政クラブ(自民)が反対しています。

「両施設の閉館は、市の行財政改革で決まったものであり、時計の針を元に戻すものだ」と反発しました。

前に進める予算

同事業は、閉館したアマゾン自然館・民俗館の資料を保存・活用するため、検討会議を開催するものです。

行革で閉館した同施設を「開館」するものではなく、前市政のもとで資料の行き先が見つからなかつたことから、それを前に進めるための予算で、行革を元に戻すものではありません。

日本一の資料数誇る

アマゾン自然館は1991(平成3)年に旧朝日村の月山あさひ博物館に、アマゾン民族館は1994(平成6)年に旧鶴岡市の出羽庄内国際村に開館しました。



日本一の資料数を誇る南米アマゾンの自然や文化を紹介し、元富

塚市長のもとで活用されてきました。

展示品には、ワシントン条約などにより収集できない貴重な民族資料が数多くあります。

当局案は「統合」

当時の市行財政改革の原案は「閉館」ではなく、合併後2カ所ある施設を「統合」し、今後の資料活用のあり方を検討する案でした。

それが一変したのが2010(平成22)年9月24日の第4回行財政改革推進委員会でした。

「鶴の一声」で廃止

委員会の会長・佐藤正明氏(元温海町長・元鶴岡市副市長)が、

**「だまされては遺憾!」
から「世界の国々へ」
安保条約は平和
的に廃止できる**

青山崇

安保条約10条は、この条約が十年間効力を存続した後(1970年以後は、廃止通告をすると、その一年後で終了する、と書いている。それから10年どころか50年近くも経っているのだから、廃止する政府をつくれれば平和的に廃止できるのである。

さて私の連載も20余年になった。そろそろ手を引こうかと思ったりするが、今は諸事情から、一時山形市に住

「アマゾン自然館については、新たな市、森林文化都市を標榜している鶴岡市の入り口で、あの場所は鶴岡市全体をアナウンスする、極めて重要な施設、場所になると思います。そこに、果たしてアマゾンが相応しいのか違和感がありました。

事務局案は統合ですが、：鶴岡市においては、一定の役割は充分果たしたと思っております。：統合というよりも、廃止に近いような形で進んだらどうかと思います。」

と述べ、一転して廃止となりました。

委員からは、「当事者の意見も聞かずに机上の上で決めるのはすぐ危険なことだと思います。」(第5回委員会10月6日)と述べられました。が、「鶴の一声」で方向転換されました。

まいしているの、手を引けば民報の皆さんとの長年の縁を切ることになるので、新しい連載を続けようと思っております。それは「世界の国々」である。

外国人観光客、外国人との結婚、その間に生まれた子ども、輸入農産物などの増加、私には想像もつかなかった国際化が急速に進んでいる。

先日、あるスーパーに「オマーン国産いん

げん」があった。国産品の半値である。

いったいどうなっているのかと調べてみた。いんげん輸入量は、1450トン、オマーンからの輸入が1265トンと9割弱でダントツである。

ついで中国の100トンである。T輸出業者が1989年から日本にいんげんを輸出してきたのである。

オマーンは石油と砂漠という知識しかなかった私は、世界遺産に



政権に引導を

先日あまりに暖かいんでバイクを引き出した。腰掛の下にメモがあつて、それによると去年より半月早かつた。少し陽に当たてから起動したらエンジンが動いた。去年はこれに半日掛つた記憶。これが「熱さ寒さも」と言われるお彼岸には一カ月近くも早いんだ。

▲これだから、玉ねぎ・にんにく等に堆肥をやりたい草むしりをしているこの頃、付き合いのある薬液会社からの電話だ。10月に消費税が10%になるから早めに買った方がいいというのだ。こは「はい・そうですか」とはいかないのが俺だ。

▲10%には反対でしょと。反対だったら統一選挙と参院選挙を頑張つて、安倍政権を倒せばいいんだ。12年に1回猪の年は、自民党

なるほど整備された灌漑施設があることを初めて知った。こんな調子で「世界の国々」を紹介していくことになるでしょう。



赤枠の国が「オマーン」

が大敗けをしてきているんだ。だから、頑張つてその後の話だな。という事に。

▲さて、そんな状況に国会を見れば、相変わらずのソラシ・ゴマカシで、まともに話をかみ合わせない。時間つぶしが狙いか。答弁する参考人を、なぜあんなに遠く2列目の真ん中に置くんのだヨ。21世紀・頭のいい人のすることではない。見ていて全くイライラするぜ。

▲民意が判らない閣僚に億円と言う言葉を知らない大臣がいたりして。基幹統計がなぜ狂つたのか・原因がわからないので再発が防止できるメー。沖縄の結果を真摯に受け止めると言いながら、工事はストップしない・滅茶苦茶だぜ。

▲防衛費と称する兵器の爆買いで膨らむ予算。憲法も民主主義も判らない政権には、選挙できつぱり引導を。(石川)